

氷見の持続可能な定置網漁業システム
富山県氷見地域
日本農業遺産保全計画
(第2期)



計画期間：令和8年4月～令和13年3月

氷見農業遺産推進協議会

令和8年1月

農林水産業システムの概要

氷見における定置網漁業の歴史は古く、その記録は400年以上前に遡る。先人たちは定置網漁業に適した沿岸海域を活かして数多くの定置網を敷設し、そこから水揚げされる魚で生計を立て、地域の社会・経済・文化を支え、育みながら暮らしてきた。現在も豊かな海洋資源をもたらす氷見の定置網漁業が、地域に果たす役割は大きく、農業や林業、文化、環境保全の営みなどとともにあるのが「氷見の持続可能な定置網漁業」（以下、「当システム」）である。

水産資源の持続的利用に適した当システムの推進

定置網漁業は、網の入口が常に開いており一度入った魚が逃げ出せることや、魚が定置網の網などに産卵し稚魚が育つなど、資源保護や生物多様性に寄与する持続可能な漁業である。氷見の定置網漁業は、地域住民に雇用の場や収益を配分することにより、地域経済を発展させてきた。また、先人たちが、改良を重ね発展してきた氷見の定置網技術は、出稼ぎ漁などにより全国に伝播し、全国の定置網漁業のモデルとなっている。現在は、海外からの研修生の受入などの国際協力を通じて、定置網の技術と運営方法の海外への普及活動を推進している。当システムの国際的な普及は、SDGsの目標である「持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する」の達成にも寄与することが期待できるものである。

当システムによる地域経済の保障

約20kmの氷見の沿岸海域には29基の定置網が敷設されており、定置網の敷設密度は、他の地域と比較しても明らかに高い。これは氷見沖の優れた漁場を活かし、地域ごとに地先に定置網を敷設し、地域の食料と雇用を守ってきた証である。定置網漁業による漁獲量は、氷見全体の漁獲量の約9割を占め、基幹的な漁法となっている。定置網漁業により、水揚げされた鮮度・品質の優れた魚は、地域の水産加工業にも利用され、その品質によって商品の価値が高まり、氷見の経済を支えている。また、新鮮な魚料理を目玉にする旅館や民宿なども多く、近年は、氷見の魚を求め市外からも大勢の方が訪れている。

農山漁村の結びつきによって形成された景観と文化

氷見の定置網漁業は、農林業と強い相互関係がある。昔から定置網の材料として藁や杉、竹などが利用され、その定置網で獲れた大量のイワシは肥料として陸域で使用されてきた。また、魚類等に対する養分の供給、水質汚濁の防止等の作用により魚類の生息と繁殖を助けるとされる魚つき保安林は、県内の約97%を本地域が占めており、森林が豊かな漁場形成に重要な役割を果たしていることを住民が認識し守ってきた。現在は、定置網漁業と農林業の関係は変わりつつも、市民による植林活動を通じて、海岸近くまで森があり、農業者によるため池・水路の整備や管理、環境保全の取組を通じて、栄養塩類の豊富な水が海域まで流れることにより、陸域と海域のつながりが維持されている。

定置網漁業は、地域の結束や豊漁を願う地域の信仰だけでなく、「こんか漬け」や「ぶり大根」、「嫁ぶり」など地域の食文化や風習をも育み、今も息づいている。

目 次

| | | | |
|-----|---------------------------|-----------|----|
| 第 1 | はじめに | ・ ・ ・ ・ ・ | 1 |
| 第 2 | 課題への対応策 | ・ ・ ・ ・ ・ | 2 |
| 1 | 食料及び生計の保障 | ・ ・ ・ ・ ・ | 2 |
| A | 脅威及び課題の分析 | ・ ・ ・ ・ ・ | 2 |
| B | 脅威及び課題への対応策 | ・ ・ ・ ・ ・ | 2 |
| (1) | 第一次産業就業者の減少 | ・ ・ ・ ・ ・ | 2 |
| (2) | 耕作放棄地及び荒廃した山林の増加 | ・ ・ ・ ・ ・ | 5 |
| (3) | 野生鳥獣による農作物被害の拡大 | ・ ・ ・ ・ ・ | 8 |
| (4) | 農産物、木材及び魚の価格の低迷 | ・ ・ ・ ・ ・ | 9 |
| 2 | 農業生物多様性 | ・ ・ ・ ・ ・ | 13 |
| A | 脅威及び課題の分析 | ・ ・ ・ ・ ・ | 13 |
| B | 脅威及び課題への対応策 | ・ ・ ・ ・ ・ | 13 |
| (1) | 富山湾及び氷見沿岸域での海洋資源の減少 | ・ ・ ・ ・ ・ | 13 |
| (2) | 陸域での貴重な動植物の減少 | ・ ・ ・ ・ ・ | 16 |
| 3 | 地域の伝統的な知識システム | ・ ・ ・ ・ ・ | 20 |
| A | 脅威及び課題の分析 | ・ ・ ・ ・ ・ | 20 |
| B | 脅威及び課題への対応策 | ・ ・ ・ ・ ・ | 20 |
| (1) | 次世代の農林水産業人材の減少によるシステムの弱体化 | ・ ・ | 20 |
| (2) | 伝統ある定置網漁業の衰退 | ・ ・ ・ ・ ・ | 21 |
| 4 | 文化、価値観及び社会組織 | ・ ・ ・ ・ ・ | 24 |
| A | 脅威及び課題の分析 | ・ ・ ・ ・ ・ | 24 |
| B | 脅威及び課題への対応策 | ・ ・ ・ ・ ・ | 24 |
| (1) | 人口減少による伝統文化・慣習の衰退 | ・ ・ ・ ・ ・ | 24 |
| (2) | 氷見の食文化の衰退 | ・ ・ ・ ・ ・ | 26 |
| (3) | 氷見の伝統芸能や祭りの衰退 | ・ ・ ・ ・ ・ | 27 |

別紙様式第 2 号

| | | |
|-----|--------------------|----|
| 5 | ランドスケープ及びシースケープの特長 | 29 |
| A | 脅威及び課題の分析 | 29 |
| B | 脅威及び課題への対応策 | 29 |
| (1) | 担い手不足による里山里海の景観の悪化 | 29 |
| (2) | 棚田地域の景観の悪化 | 32 |
| (3) | 沿岸域の環境の悪化 | 35 |
| 6 | 変化に対するレジリエンス | 37 |
| A | 脅威及び課題の分析 | 37 |
| B | 脅威及び課題への対応策 | 37 |
| (1) | 農山漁村における環境の悪化 | 37 |
| (2) | 気候変動に伴う災害の増加 | 40 |
| 7 | 多様な主体の参画 | 43 |
| A | 脅威及び課題の分析 | 43 |
| B | 脅威及び課題への対応策 | 43 |
| (1) | 農林水産業の担い手不足 | 43 |
| 8 | 6次産業化の推進 | 48 |
| A | 脅威及び課題の分析 | 48 |
| B | 脅威及び課題への対応策 | 48 |
| (1) | 農林水産業の衰退と所得の減少 | 48 |
| 第3 | モニタリング方法 | 50 |
| 第4 | 考察 | 50 |

第 1 はじめに

定置網漁業は、魚群を追う底びき網やまき網と違い、魚が網に入るのを待つ漁法であるため、水産資源の持続的な利用を可能にする漁法である。氷見では、古くから定置網漁業が盛んに営まれ、全国に普及、技術発展させてきた。また、氷見の定置網漁業は、地域の雇用を増やすほか、その収益を地域住民に配分する仕組みがあり、地域の経済的基盤を形成してきた。

しかし、漁業従事者の高齢化、後継者の不足や魚価の低迷、温暖化等の環境の変化による獲れる魚種の変化など、水産業を取り巻く環境が厳しい状況にある中、氷見を代表するブランド魚「ひみ寒ぶり」をはじめ主要魚種の漁獲変動が大きく、漁業経営の先行きは不透明な状況にある。また、人口減少、少子高齢化の進展により、氷見では特に第一次産業の担い手不足が深刻な問題となっており、定置網漁業の衰退が危惧されている。

これまで、第 1 期保全計画に基づいてこれらの問題に対して取組んできたことで、第一次産業の担い手の確保や農業生物多様性の維持、食のイベントや環境美化活動、棚田の保全活動などへの地域住民や関係人口などの多様な人材の参画に効果が見られたが、人口減少のスピード以上に、第一次産業全体の就業者数が減少しており、保全活動への参加者も人口減少に伴い減少している。また、保全期間中に、氷見市の SDGs 未来都市への選定や、新型コロナウイルス感染症拡大による保全活動の様々な取組の縮小や中止、能登半島地震によるインフラや住居等への大きな被害、特に沿岸部で液状化による建物の沈下などの甚大な被害が発生する等、第 1 期保全計画の策定時から環境が大きく変化している。現在、氷見地域では能登半島地震から早期の復旧・復興を目指すとともに、「活力とにぎわいのある『ひみ』の創造」に向けて地域全体が全力で取り組んでいるところである。

定置網漁業による魚を中心とした社会・経済・文化が形成されて来た氷見地域にとって、第一次産業の就業者の減少は地域経済や漁業文化、人口動態などに様々な影響を及ぼし、地域の衰退につながることになる。そのため、第 2 期保全計画では、機械化による人手の省力化や生産物の高付加価値化、多様な人材が活躍できる環境整備を進めるなど、これらの社会環境の変化に的確に対応し、第一次産業の魅力の向上に取り組むとともに、人口減少がこのシステムへ様々な観点で影響を与え、解決すべき課題となっていることから、様々な取組においてステークホルダーとして限られた団体やメンバー等で実施してきたことも、これからは定置網漁業とそれに伴う社会・文化の魅力を広く発信し多様な主体から多くの人々に参画を求め、オール氷見で行っていく。

この計画に基づいた取組を推進することで、氷見の定置網漁業を核として受け継がれてきた社会・経済・文化を内包する農林水産業システムが、人口が減少しても持続可能なシステムとして次世代に継承されるとともに、住んでいる人々がふるさと氷見に愛着

と誇りを持って、みんなで支え、みんなが幸せに暮らせる地域の実現を目指す。

第 2 課題への対応策

1 食料及び生計の保障

A 脅威及び課題の分析

氷見で水揚げされる水産物の 9 割以上は定置網漁業によるものである。また、氷見を訪れる観光客は、「ひみ寒ぶり」を代表とする新鮮な魚介類や農産物などの食材を求めて訪れている。このため、定置網漁で漁獲された魚介類や農業特産品は地域内外で消費され、第一次産業だけでなく観光などの他産業においても重要な資源となっている。

しかし、氷見市では、急速に人口減少、少子高齢化が進展していることに伴い、第一次産業の就業者数が 1, 030 人（2015 年）から 891 人（2020 年）に減少している。この第一次産業の就業者の減少は、伝統的な定置網漁業の衰退だけではなく、耕作放棄地や荒廃した山林の拡大にも大きく影響を与えており、農業、林業、漁業の次世代への持続的な継承に大きな脅威となっているほか、森づくり活動への参加人数にも大きな影響を与えている。また、近年、野生鳥獣による農作物被害が生産者の生産意欲を低下させ、耕作放棄地が拡大し、さらなる農作物被害を招く悪循環が生じている。さらに氷見産木材は主伐地（植樹地）が効率性の高い区域から低い区域に移動していることから生産量が減少している。加えて、魚価及び農産物、木材の価格の低迷により、第一次産業を取り巻く環境はますます厳しくなっている。

そのため、まずは第一次産業への興味・関心を持ってもらい、それを担い手の確保や育成、活動への参加につなげていく必要がある。また、里海での漁業、里山での農業、林業生産者が安定して収益を得るための取組が必要である。さらに、所得向上のため新たな需要や販路を拡大するだけでなく、6 次産業化や地域の魅力を国内外に発信していく必要がある。

B 脅威及び課題への対応策

(1) 第一次産業就業者の減少

ア 農業を担う人材の育成・確保

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県及び氷見市農業協同組合が連携し、認定農業者及び新規就農者

の営農支援の充実を図るため、新規就農者への機械導入の支援や、スマート農業の普及に向けたモデル地区での実証試験等により労働生産性を高めて農業所得の向上を図り、次世代を担う農業者の育成・確保に取り組む。

〔目標指数〕 新規就農者数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 2 人

目標値（令和 1 2 年度）… 1 人以上（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

労働生産性を高めて農業所得の向上を図ることで、若者の就農意欲の向上につながる。地域内外からの若者が就農することで、地域の農業が継続的に営まれるだけでなく、耕作放棄地対策にも寄与し、地域の活性化にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・富山県：新規就農に係る事業への支援、指導、助言
- ・氷見市：新規就農に係る事業の企画・支援及び地域外からの新規就農者に対する支援
- ・氷見市農業協同組合：地域における新規就農希望者の発掘、営農指導、助言
- ・農業経営体：新規就農者・経営体への営農指導、交流

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ 林業を担う人材の育成・確保

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県及びひみ里山杉活用協議会が連携し、林業就業意欲を高めることや氷見の林業に触れる機会の充実を図るため、ひみ里山杉振興推進事業などを活用し、次世代を担う林業者の育成・確保に取り組む。

〔目標指数〕 各種林業体験への参加者数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 3 6 2 人

目標値（令和 1 2 年度）… 3 6 2 人（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

地域内外からの若者が林業に就業することで、地域の林業が継続的に営まれるだ

けでなく、森林の保全にも寄与し、また、地域の活性化にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・ひみ里山杉活用協議会：地域における新規就業者の発掘、技術指導、助言
- ・富山県：新規就業者に係る事業の企画・政策への支援
- ・氷見市：新規就業者に係る事業の企画・政策・支援及び地域外からの新規就業者に対する支援
- ・林業経営体：新規就業者への技術指導、交流

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

ウ 漁業を担う人材の育成・確保

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市と氷見漁業協同組合が連携し、氷見の漁業に触れる機会の充実を図るため、氷見高等学校海洋科学科を対象とした後継者育成漁業体験教室などを実施し、次世代を担う漁業者の育成・確保に取り組む。また、新規就業者の増加と定着を図るため、漁業就業支援フェアへの経営体の出展や、経営体での研修の受入環境の整備を行う。加えて、多様な人材の漁業への参画や経営体の収益の多元化を図るため、養殖技術の確立に取り組み、養殖業の定着を図る。

[目標指数] 氷見高等学校海洋科学科のうち水産業への新規漁業就業者数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 1 人

目標値（令和 1 2 年度）… 2 人以上（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

氷見高等学校海洋科学科の生徒や就業希望者が地域の漁業経営体に就業し定着することで、地域の定置網漁業が継承されるだけでなく、多様な人材の確保により、地域の活性化にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見漁業協同組合：漁業体験教室の技術指導、交流、事業への助言
- ・氷見市：漁業体験教室の企画、運営、事業の支援

- ・ 漁業経営体：事業の実施、定置網漁業の体験、交流、環境整備

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

(2) 耕作放棄地及び荒廃した山林の増加

ア 耕作放棄地の復元整備の強化

a 戦略及び行動、定量目標

地域事業者や団体、氷見市、富山県、氷見市農業協同組合が、耕作放棄地の復元、営農または保全管理に取り組み、耕作放棄地の増加を抑制する。

[目標指数] 荒廃農地復元整備面積（累計）

現状値（令和 7 年度）… 1 2 a

目標値（令和 1 2 年度）… 4 0 a（令和 8 年度から 5 年間）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

耕作放棄地の復元、営農または保全管理に取り組むことで、耕作放棄地の解消を進め、拡大の抑制に貢献するだけでなく、農地が有する水源涵養機能や洪水防止機能等の多面的機能の強化が図られる。

c 各主体の関与の方法

- ・ 地域事業者や団体：耕作放棄地対策事業の企画、調整、運営
- ・ 富山県：氷見市での耕作放棄地対策事業への支援、指導、助言
- ・ 氷見市：耕作放棄地対策事業への支援
- ・ 氷見市農業協同組合：耕作放棄地対策事業の周知、協力

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ 地域振興作物による水田フル活用の推進

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県、氷見市農業協同組合及び農業経営体などが連携し、産地交付金事業などを活用し、地域の特色ある作物であるハトムギ、白ねぎ及びマコモタケなどを栽培し、水田フル活用を推進する。

〔目標指数〕 地域振興作物の作付面積（年間）

現状値（令和 6 年度）… 4, 1 8 6 a

目標値（令和 1 2 年度）… 4, 1 8 6 a

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

氷見市の地域振興作物であるハトムギ、白ねぎ及びマコモタケなどを作付けし、水田フル活用を推進することで休耕田の活用が図られるだけでなく、地域振興作物の安定生産にも大きく貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市農業協同組合：地域振興作物の作付水田の調整、技術指導
- ・富山県：事業への支援、指導、助言
- ・氷見市：事業への支援
- ・農業経営体：地域振興作物（ハトムギ、白ねぎ、マコモタケなど）の作付、管理、出荷

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

ウ 森林施業の集約化による森林の保全

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県及び富山県西部森林組合が連携し、森林の有する多面的機能が持続的に発揮されるよう、森林経営計画に基づく森林整備地域活動支援事業などを活用し、まとまりのある一体的な地域の森林に効率的な森林施業（造林、保育、間伐など）や路網の整備を実施する。

〔目標指数〕 森林経営計画の対象となる森林施業面積（年間）

現状値（令和 6 年度）… 9 5 2 h a

目標値（令和 1 2 年度）… 4 5 0 h a（毎年）

※令和 5 年度の森林施業面積の一部を令和 6 年度に繰り越して実施したため、現状値が大きくなっている。森林経営計画では森林施業面積を毎年度 4 5 0 h a としている。

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

森林経営計画に基づいて、森林施業を行うことにより、森林の有する多面的機能の保持や荒廃する山林の拡大防止、里山における森林景観の維持に貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・富山県西部森林組合：森林経営計画に基づく森林施業、施業路に係る森林情報収集、森林調査、設計、所有者などへの合意形成、施工に係る指導、監督、管理
- ・富山県：森林経営計画の作成から施工完了までの支援、指導、助言
- ・氷見市：森林経営計画の作成から施工完了までの支援、指導、助言及び所有者への合意形成
- ・林業経営体：富山県西部森林組合の監督のもと森林施業、各種路網の施工

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

エ 市民による森づくり活動の推進

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県西部森林組合、氷見木材組合、製材所、設計事務所、工務店などからなるひみ里山杉活用協議会が中心となり、ひみ里山杉振興推進事業などを活用し、伐採や植樹体験などの自然体験プログラムを行い、市民による森づくりを推進する。

[目標指数] 市民による森づくり活動参加者数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 66 人

目標値（令和 12 年度）… 80 人

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

市民が森づくりに取り組むことで、荒廃する山林の拡大防止や里山における森林景観の維持に貢献するだけでなく、地域の活性化にも大きく貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・ひみ里山杉活用協議会：イベントなどの企画、運営、指導
- ・富山県西部森林組合：事業への協力、イベントなどへの参加
- ・市民：イベントへの参加

- ・ 富山県：事業への支援、指導、助言
- ・ 氷見市：事業への支援、イベントの開催告知や広報
- ・ 林業関連企業：企画への協力、イベントなどへの参加

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

(3) 野生鳥獣による農作物被害の拡大

ア 野生鳥獣による農作物被害対策の強化

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県、氷見市農業協同組合、氷見市猟友会及び富山県西部森林組合などからなる氷見市鳥獣被害防止対策協議会が、野生鳥獣による農作物被害を防止するため、被害防止対策の普及・啓発や電気柵、侵入防止柵などの設置支援、有害鳥獣の追い払いや捕獲を実施する。

[目標指数] 野生鳥獣による農作物被害金額（年間）

現状値（令和 6 年度）… 5 3 6 万円

目標値（令和 1 2 年度）… 2 9 5 万円以下

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

鳥獣被害防止対策事業などを活用し、被害防止対策の普及・啓発や電気柵、侵入防止柵などの設置支援、有害鳥獣の追い払いや捕獲を実施することで、里山での農作物被害件数が減少し、農作物の収穫量の確保による収益の維持や農業生産者の生産意欲の向上につながり、持続的な農業経営に貢献するだけでなく、地域の活性化にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・ 氷見市鳥獣被害防止対策協議会：鳥獣被害防止対策事業の実施
- ・ 氷見市：鳥獣被害防止対策事業に係る支援、普及、啓発活動及び研修会の実施
- ・ 富山県：氷見市が取り組む鳥獣被害防止対策事業への支援、指導、助言
- ・ 氷見市猟友会：有害鳥獣の捕獲
- ・ 地域住民：電気柵、侵入防止柵及び捕獲檻の設置、管理

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

(4) 農産物、木材及び魚の価格の低迷

ア 農産物の高付加価値化

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県及び氷見市農業協同組合などが連携し、氷見市の高品質で付加価値の高い農作物を作る農家や地域の取組を支援することで、氷見産コシヒカリの特別栽培米である「ひみ穂波」、ハトムギ、稲積梅及びマコモタケなどに続く、付加価値の高い農作物の栽培を推進する。

[目標指数] 付加価値の高い農産物の生産への助成件数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 4 件

目標値（令和 1 2 年度）… 4 件（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

農業経営体が付加価値の高い農作物を生産することにより、所得の向上に貢献するだけでなく、新たなブランド化が図られることで地域の活性化につながり、次世代への営農の継承にも大きく貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市農業協同組合：作物栽培の技術指導、調整
- ・富山県：事業に係る支援、指導、助言及び技術指導
- ・氷見市：事業に係る支援
- ・農業経営体：付加価値の高い農作物の生産、出荷

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ ひみ里山杉の需要拡大と販路拡大

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県西部森林組合、氷見木材組合、製材所、設計事務所、工務店などからなるひみ里山杉活用協議会は、ひみ里山杉振興推進事業などを活用し、ひみ里山杉を使った新商品の開発、ブランド化や首都圏での PR に取り組むことで販

路開拓を図る。

〔目標指数〕 氷見産木材の生産量（年間）

現状値（令和 6 年度）… 15,190 m³

目標値（令和 12 年度）… 15,190 m³

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

ひみ里山杉の販路開拓へ取り組むことで、ひみ里山杉のブランド化が進み林業経営体の所得向上に貢献するだけでなく、荒廃する森林の減少及び地域の活性化にも大きく貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・ひみ里山杉活用協議会：新たな商品、イベントなどの企画、運営、指導
- ・富山県西部森林組合：事業への協力、木材の供給、イベントなどへの参加
- ・富山県：事業への支援、指導、助言
- ・氷見市：事業への支援、イベントの開催告知や広報
- ・林業関連企業：企画への協力、イベントなどへの参加

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

ウ 水産物の消費拡大とブランド強化

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市のふるさと納税寄附受入額は令和 6 年度に 9 億円に達しており、その際に選択されている返礼品として圧倒的に多いのが魚介類を使用した刺身や干物などの返礼品で、寄附額の 50%以上を占めている。氷見産の魚の価値向上のため、氷見で水揚げされる魚などの地域食材の消費拡大やその食材を使った食のブランド強化に取り組むとともに、定置網漁業が環境負荷の少ない漁法であり、環境面での優位性や魚の鮮度が高いことを記載した PR チラシを作成し、ふるさと納税や道の駅などで活用することで、市内外への発信を強化する。PR チラシやふるさと納税サイトなどで氷見地域農業遺産のロゴマークを掲示し、氷見の持続可能な定置網漁業のブランドの認知度を向上させる。

〔目標指数〕 ふるさと納税寄附受入額（年間）

現状値（令和 6 年度）… 9 億円

目標値（令和 1 2 年度）… 7 億円以上（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

第一次産業就業者の所得が向上することで、地域での生産力強化につながるだけでなく、地域外への発信により、氷見の食材・食のブランド価値や氷見地域の農業遺産の認知度が高まることで、多くの観光客が訪れ、観光産業に関連する企業等の所得向上にも貢献する。加えて、地域の活性化にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・ひみの食ブランディング協議会：事業に係る企画、運営、イベント等の開催、情報発信
- ・市内企業（農林水産業事業者など）：事業に係る企画、生産、情報発信
- ・氷見商工会議所：返礼品開発に係る助言
- ・氷見市：事業に係る支援、ふるさと納税サイトでの情報発信
- ・富山県：事業に係る指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

エ 農林水産業の観光向け商品開発や体験型コンテンツの構築

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、氷見商工会議所、氷見市農業協同組合、氷見市観光協会及び氷見市水産加工業協同組合などからなる「ひみの食ブランディング協議会」や地域の事業者は、食のブランド強化として、氷見で水揚げされる魚などの地食材の消費拡大やその食材を使った観光客に好まれる商品開発に取り組む。また、氷見地域で育まれてきた地場産品を「氷見地域農業遺産応援商品」に認定し、積極的に PR することで、商品とともに定置網漁業とその文化も市内外に発信する。併せて、農林水産業事業者が一体となり、里山での果樹等の農産物や竹等の林産物の活用体験、養殖による水産物の水揚体験など、氷見地域らしい体験型コンテンツの構築に取り組む。これらの取組を、観光、農林水産業事業者が一体となって市内外に発信し、第一次産業への興味・関心を地域住民のみならず地域外へも拡大する。

【目標指数】 観光入込客数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 2 1 0 万人

目標値（令和 1 2 年度）… 2 3 0 万人

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

氷見の豊かな食の魅力を生かした新商品開発や、農林水産業の体験型コンテンツの構築に取り組むことで、地域での生産力強化につながり、第一次産業就業者の所得向上に貢献するだけでなく、地域外への発信により、氷見の食材・食のブランド価値や氷見地域の農業遺産の認知度が高まることで、多くの観光客が訪れ、観光産業に関連する企業等の所得向上にも貢献し、地域の活性化にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・ひみの食ブランディング協議会：事業に係る企画、運営、イベント等の開催、情報発信
- ・市内企業（農林水産業事業者など）：事業に係る企画、生産、情報発信
- ・氷見商工会議所：新商品開発に係る助言
- ・氷見市：事業に係る支援
- ・富山県：事業に係る指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

2 農業生物多様性

A 脅威及び課題の分析

富山湾は暖流系と寒流系の両方の生物が生息している全国有数の良好な漁場であり、「天然の生簀」とも呼ばれている。しかし、近年はイワシやイカ、ブリなど、魚種による漁獲量の変化が大きく、テングサやナガラモ（アカモク）の収量も年による格差があり、海洋環境の変化や海洋資源の減少が危惧されている。

また、氷見地域には大きな河川がなく、氷見の農業は、昔から恒常的な水不足に悩まされ、各地域に数多くのため池が整備され、水不足を克服してきた歴史がある。このように水を確保しながら農業を営んできたことにより、陸域にはイタセンパラ、多種で貴重なトンボ、絶滅危惧種のガガブタや十二町潟のオニバスなど重要な動植物が生息している。

しかし、イタセンパラは生息数の減少により国内希少野生動植物種として指定され、宮田地区ため池群の乱橋池の貴重なトンボは生息数が減少、さらには、発生地が国指定天然記念物である十二町潟におけるオニバスは、環境の変化などにより 1979 年（昭和 54 年）以来、その指定区域には自生しておらず、陸域の希少な野生動植物の減少及び絶滅が危惧されている。

そのため、藻場の保全活動、水産資源量向上のための稚魚の放流などに取り組むことで、富山湾の水産資源を保全する。また、環境に優しい農業や棚田の保全活動、イタセンパラなどの希少な動植物の保全活動に積極的に取り組み、陸域における生物多様性を維持することで、栄養と餌となるプランクトンを多く含んだ水が海へ流れつきプランクトンは分解され、藻場の生育に必要な栄養塩類となり、魚の生育場となる藻場を増やすことで豊かな海が守られ、富山湾の水産資源の保全、定置網漁業の持続にも貢献する。これら山、里、海が一体的につながる環境保全に取り組むことの重要性について地域住民に対して意識の醸成を図る必要がある。

B 脅威及び課題への対応策

(1) 富山湾及び氷見沿岸域での海洋資源の減少

ア 水産資源の持続に向けた稚魚放流活動

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市水産多面的機能発揮対策協議会及び氷見市が連携し、種苗放流支援事業などを活用し、クロダイやヒラメなどの稚魚を放流することで、富山湾の水産資源が持続的に利用できるように取り組む。

〔目標指数〕 稚魚の放流数（年間）

現状値（令和 7 年度）… 103,000 尾

目標値（令和 12 年度）… 87,000 尾以上（毎年）

※稚魚価格の上昇に伴い計画放流数が減少することから、目標数も同様に減少する。

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

種苗放流支援事業などに持続的に取り組むことで、水産資源の持続的利用が可能となり地域の定置網漁業の安定した経営にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市水産多面的機能発揮対策協議会：事業の企画、運営
- ・氷見市：事業に係るイベントなどへの参加
- ・市内保育園：稚魚放流などのイベントへの参加
- ・富山県：事業への助成

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ 氷見沿岸域の生物多様性の保全に向けた活動

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市水産多面的機能発揮対策協議会及び氷見漁業協同組合、氷見市が連携し、富山湾及び氷見沿岸域をきれいな海として維持するとともに、氷見沿岸域の漁場・藻場の環境保全を図るため、海岸清掃、母藻の設置、岩盤清掃、流域における植林や下草刈りなどを実施する。また、温暖化等による環境変化を把握するため、藻場の植生の変化について調査を行う。

〔目標指数〕 藻場の環境保全活動の回数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 0 回

目標値（令和 12 年度）… 4 回以上（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

海岸清掃、母藻の設置、岩盤清掃などを実施することで、富山湾及び氷見沿岸域の漁場・藻場の機能及び環境が保全され、富山湾及び氷見沿岸域の生物多様性の保全に貢献するだけでなく、定置網漁業の継承にも貢献する。また、藻場の植生調査

を行うことで、沿岸域の温暖化等による環境の変化を把握し、今後の藻場の保全に活用する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市水産多面的機能発揮対策協議会：漁場、藻場の機能及び環境保全に係る事業の企画、運営
- ・氷見漁業協同組合：事業に係る企画、運営、調整
- ・氷見市：事業に係る支援
- ・富山県：藻場の植生調査、事業に係る支援、指導、助言
- ・漁業経営体：各種活動への参加

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

ウ 河川の水質変化の把握

a 戦略及び行動、定量目標

富山県と氷見市が連携し、富山湾及び氷見沿岸域を豊かな海として維持するとともに、氷見沿岸域の漁場・藻場の環境保全を図るため、氷見地域の4河川の水質を検査するとともに、結果を分析して、氷見産の魚のブランドイメージ向上に活かす。

[目標指数] 氷見地域の4河川のBOD値(75%水質値、mg/L) (年間)

現状値(令和6年度) … 1.6

目標値(令和12年度) … 5.0以下

b 申請地域の動的保全に対するaの貢献

継続的な水質のモニタリングにより環境保全型農業が漁業に及ぼす効果について検証し、消費者へ質の高い魚の価値を高める取り組みとして発信する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市：事業に係る企画、運営、実施
- ・富山県：事業に係る支援、指導、助言

d 予算の確保予定

県事業を活用する。

(2) 陸域での貴重な動植物の減少

ア イタセンパラの保護と保全の推進

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山大学理学部、イタセンパラを守る市民の会及び小学校などが連携し、イタセンパラ保護増殖事業計画に基づき、富山大学理学部・氷見市連携研究室では、天然記念物イタセンパラ再生事業などを活用し、イタセンパラ保護池でイタセンパラの繁殖を実施する。また、イタセンパラの保全に外来種が影響することから、外来種の駆除を行う。小学校においての総合的な学習の時間で絶滅危惧種に対する教育や環境教育に積極的に取り組み、イタセンパラなど氷見の淡水魚の保護と保全を推進する。

[目標指数] 保護池でのイタセンパラの個体数 (年間)

現状値 (令和 6 年度) … 1, 000 個体

目標値 (令和 12 年度) … 2, 000 個体 (毎年)

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

氷見市が主体となりイタセンパラの飼育研究に取り組み、イタセンパラ保護池で繁殖に成功することで、イタセンパラの保護と保全に貢献するだけでなく、小学校においてもイタセンパラを通じた環境教育などに積極的に取り組むことで次世代への継承にも大きく貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市：富山大学理学部と連携し調査、研究、イベントの企画、運営
- ・富山大学理学部：氷見市と連携し調査、研究、イベントの企画、運営
- ・イタセンパラを守る市民の会：イタセンパラ保護池などの環境保全活動や調査研究への協力
- ・小学校：児童がイタセンパラなどの地域の淡水生物について学ぶ
- ・富山県：取組への支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ イタセンパラ等を活用したアクアツーリズムによる環境保全

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県、氷見市観光協会、地域住民やアクアーツリズム精通者が連携し、作成したイタセンパラアクアーツリズムの普及啓発に取り組み、氷見地域でのイタセンパラ・水田・井戸水を利用した住民の暮らしなどを結ぶ新たな体験型観光として活用する。また、観光企画に取り組むことにより、地域の農村環境の保全活動にも取り組む。

〔目標指数〕 ひみラボ水族館の入館者数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 11,758 人

目標値（令和 12 年度）… 10,000 人以上（毎年）

※ひみラボ水族館においてイタセンパラアクアーツリズムの常設展示を行っている。

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

イタセンパラを活用したアクアーツリズムに取り組むことにより、体験型観光メニューを求め観光客が増加し、地域の活性化に貢献するだけでなく、参加者や地域住民による水田や河川、ため池など農村環境の保全活動が継続的に実施されることで、地域の生物多様性の保全にも大きく貢献する。

c 主体の関与の方法

- ・氷見市：地域住民の環境保全活動への支援、観光資源としての企画、提案
- ・氷見市観光協会：イタセンパラを活用したアクアーツリズムの企画、PR、運営
- ・地域住民：持続的な水田、河川、ため池などの農村環境保全活動、アクアーツリズムへの協力
- ・参加者：持続的な水田、河川、ため池などの農村環境保全活動
- ・富山県：事業に係る支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

ウ トンボの生息数の回復

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、乱橋池周辺のトンボと自然を守る会、自治会及び小学校などが連携し、トンボの幼虫であるヤゴを守るため、アメリカザリガニ駆除や除草活動などの乱橋

池周辺の保全活動に取り組む。また、小学生などを対象とした親子トンボ教室を開催する。

〔目標指数〕 乱橋池周辺の保全活動、親子トンボ教室の開催数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 7 回

目標値（令和 1 2 年度）… 9 回

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

ネアカヨシヤンマなど県内では数少ない貴重なトンボが生息している乱橋池で、アメリカザリガニ駆除活動や親子トンボ教室を実施することで、トンボの幼虫であるヤゴが守られトンボの生息数の回復に貢献するだけでなく、地域の自然や環境への理解を深めることにも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・乱橋池周辺のトンボを守る会：環境保全活動の企画、実施、イベントの参加
- ・氷見市：事業全般に係る支援、企画、運営、実施
- ・自治会：環境保全活動の企画、実施、イベントへの協力
- ・小学校：イベントなどへの参加
- ・富山県：事業に係る支援、指導、助言

d 予算の確保予定

県の補助事業を活用する。

エ 十二町瀉オニバスの自生回復への取組

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、氷見市オニバス研究会及び自治会などが連携し、オニバスの発生地である十二町瀉の水質や土壌調査を実施するとともに、十二町瀉のガマ刈りやカメ・アメリカザリガニの駆除などの環境保全活動に取り組む。また、地元の十二町小学校のオニバス栽培池ではオニバスの栽培・観察をする。

〔目標指数〕 十二町瀉オニバス発生地でのオニバスの自生（年間）

現状値（令和 6 年度）… 発生地での 1 株自生

目標値（令和 1 2 年度）… 発生地での自生（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

オニバスの発生地での環境調査や環境保全活動などに取り組むことで、発生地でのオニバスの自生回復に貢献するだけでなく、自生のオニバスを目的に観光客の増加も見込まれ、地域の活性化にも貢献する。また、小学校でのオニバスの栽培・観察活動などに取り組むことで、貴重なオニバスの知識の継承に大きく貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市：オニバス自生地の水質及び土壌調査の実施、環境保全活動の企画、運営
- ・氷見市オニバス研究会：環境保全活動の企画、実施、イベントの参加
- ・自治会：環境保全活動の企画、実施、イベントへの協力
- ・小学校：環境保全活動への参加、オニバスの栽培・観察活動
- ・富山県：事業に係る支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

3 地域の伝統的な知識システム

A 脅威及び課題の分析

氷見市では、地域の人々の知恵と技術により 400 年以上の年数をかけ、定置網漁業を発展させてきた。氷見の定置網漁業は、地域の雇用を生み、関連産業を生みだし発展させ、地域経済に大きく貢献している。さらに、背後の丘陵地を農地として利用し半農半漁の暮らしを営み、食料の補完をしてきただけでなく、良好な漁場を保全するため周辺住民による森林、水田やため池などの農地の環境保全に取り組んできた。

しかし、氷見市では、人口減少や少子高齢化の急速な進展、農林水産業の専門化に伴い、各業種の就業者数も減少している。これにより、氷見地域での主要な産業である定置網漁業の衰退や関連する加工業、観光業にも影響を与えることが危惧される。また、定置網漁業などで育まれてきた氷見の農山漁村ならではの文化の継承も危惧される。

そのため、まずは、地域での担い手の育成・確保が必要である。また、氷見で発展した定置網漁業と農業・林業とが深く結びついてきた歴史などを、市民が知ることによって地域への愛着と誇りを醸成する必要がある。さらに、世界的な水産資源の持続的な利用ができるよう、国内外に向け定置網漁業の技術普及や交流を進める必要がある。そして、氷見の農山漁村での伝統的な文化を継続する必要がある。

B 脅威及び課題への対応策

(1) 次世代の農林水産業人材の減少によるシステムの弱体化

ア ふるさと教育を通じた農林水産業の普及啓発

a 戦略及び行動、定量目標

氷見の特色ある農林水産業を次世代に継承するため、小中学生や高校生に対し、農林水産業や加工業などの仕事を体験する「ふるさと教育」を推進し、人口減少により学齢期の子どもが減っている中でも、活動を維持していく。

[目標指数] 親子地域産業体験に参加した人数 (年間)

現状値 (令和 6 年度) … 63 人

目標値 (令和 12 年度) … 58 人以上 (毎年)

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

次代を担う小中学生や高校生が、氷見の特色ある農林水産業に関連する仕事を体

験することにより、農林水産業関連の仕事に興味や関心を持ち、就業意欲の高揚につながることで、氷見の農林水産業の人材確保・育成、継承に貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市：ふるさと教育に係る事業の企画、運営、調整
- ・市内小中学校：ふるさと教育事業への調整、児童生徒の参加
- ・氷見高等学校：ふるさと教育「HIMI学」でのカリキュラムの企画、運営、交流
- ・市内企業（農林水産業事業者など）：仕事体験の受け入れ、指導、交流
- ・氷見商工会議所：仕事体験の企画、運営、調整
- ・地域住民：ふるさと教育事業への協力
- ・富山県：事業への支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

(2) 伝統ある定置網漁業の衰退

ア 定置網漁業の市内外への普及

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県及び氷見市観光協会などが連携し、氷見市漁業文化交流センター（ひみの海探検館）を活用し、定置網漁業を中心とした氷見の豊かな里山、里海の自然や食などの魅力について体験できる機会の創出を図る。また、氷見市立博物館を活用し、定置網漁業を中心とした氷見の漁業の歴史と人々の暮らしや習慣、農業や林業との結びつきについて知る機会の創出も図る。さらに、定置網漁業は環境負荷の少ない漁法であり、環境面での優位性や魚の鮮度が高いことを消費者にPRするとともに、氷見地域で育まれてきた地場産品である「氷見地域農業遺産応援商品」の認定拡大を図る。そして、SDGs 未来都市に選定されたことも踏まえ、定置網漁業を中心に発展してきた地域の歴史や人々の暮らしについて氷見市SDGs 推進協議会とも連携して周知・啓発に努め、定置網漁業の特長や魅力等について理解の促進に向けて、農業遺産シンポジウム等を開催する。

[目標指数] 氷見地域農業遺産についての市民の認知度

現状値（令和6年度）… 45.9%

目標値（令和 1 2 年度）… 80.0%以上

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

定置網漁業を中心とした氷見の漁業の歴史や人々の暮らしなどの変遷を学ぶことで、地域住民の地域への愛着と誇りの醸成に貢献するだけでなく、観光客が氷見の魅力や定置網漁業の特長に触れることで地域産品の購入、再来訪や都市部からの移住・定住につながり、地域の活性化にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市：イベントの企画、運営への支援、PR活動
- ・氷見市漁業文化交流センター：展示の企画、運営、イベントの企画、PR活動
- ・氷見市立博物館：展示の企画、運営、イベントの企画、PR活動
- ・氷見市観光協会：施設の管理、運営、イベントの企画、PR活動
- ・市内小中学校：授業での活用、イベントへの参加
- ・氷見市SDGs推進協議会：イベントの企画、PR活動
- ・富山県：事業に係る支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ 定置網漁業の海外への普及

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県、氷見漁業協同組合及び独立行政法人国際協力機構（JICA）などが連携し、本市発祥の越中式定置網漁業の海外への普及や技術協力及び外国人技能実習生の受入を行う定置網漁業国際協力事業などを実施する。

〔目標指数〕 外国人技能実習生受入人数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 8 人

目標数（令和 1 2 年度）… 8 人以上（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

氷見で発展した定置網漁業が世界に普及することで、世界の海洋資源の持続的な利用に貢献するだけでなく、国際交流や地域の活性化にも大きく貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市：事業の企画、運営、支援
- ・国際協力機構（JICA）：事業への協力、連絡調整
- ・漁業経営体：外国人実習生への技術指導、交流活動等への参加
- ・氷見漁業協同組合：事業への協力
- ・富山県：事業に係る支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

4 文化、価値観及び社会組織

A 脅威及び課題の分析

氷見の漁村地域では、良好な漁場を維持していくため、漁業経営体や地域住民などによる海岸清掃活動や植林活動などに取り組むことで、今日まで定置網漁業が継承されてきた。また、氷見の農村地域では、地域全体でため池や用排水路などの保全活動や集落の人々が協力しての営農活動などにより氷見の農業が継承されてきた。

このような農業や漁業を通じて、氷見の各地域では、五穀豊穡や大漁・安全を祈願する祭礼が行われるとともに獅子舞が舞われ、氷見の伝統文化として継承されている。また、沿岸地域では、えびす神を祀るえびす堂や魚取社、金毘羅神を祀る金毘羅堂が 3 3 箇所もあり、地区の海上安全や豊漁祈願の祭礼も継承されている。

さらに、氷見市では、地域で水揚げされたブリをはじめとするイワシやイカなど魚介類を使った伝統的な食文化が存在する。また、嫁いだ年に実家から嫁ぎ先へのお歳暮として寒ぶりを丸々一本贈る「嫁ぶり」という風習が現在も継承されている。

しかし、近年、人口減少や少子高齢化、地域住民の価値観の変化などにより、農山漁村の人々の関わりが希薄となり、集落機能が低下することで、氷見の伝統文化、食文化などの継承が難しくなっている。

そのため、氷見の伝統的な祭礼、獅子舞などの地域の文化芸能、氷見の伝統料理などの食文化や氷見独特な慣習などを次世代に継承する取組が必要である。

B 脅威及び課題への対応策

(1) 人口減少による伝統文化・慣習の衰退

ア ふるさと教育による郷土愛の醸成

a 戦略及び行動、定量目標

氷見の伝統的な文化や慣習などを次世代に継承するため、市内の小中学生、高校生が氷見の自然、歴史・文化、産業、農林水産業や食文化など、地域への愛着を育む地域と連携した「ふるさと教育」を学び、郷土への理解を深める。

[目標指数] 氷見が好きだと感じている市民の割合

現状値（令和 6 年度）… 76.4%

目標値（令和 12 年度）… 85.0%

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

次代を担う小中学生や高校生が、郷土の氷見の自然や歴史・文化、暮らし、産業などに親しむことで、ふるさと氷見への理解と郷土愛が生まれ、将来的には若者の定住につながり、伝統文化や慣習が継承されることで地域の活性化に貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市：ふるさと教育に係る事業の企画、運営、調整
- ・市内小中学校：ふるさと教育事業への調整、児童生徒の参加
- ・氷見高等学校：ふるさと教育「HIMI学」でのカリキュラムの企画、運営、交流
- ・市内企業（農林水産事業者など）：仕事体験の受け入れ、指導、交流
- ・地域住民：ふるさと教育事業への協力
- ・富山県：事業への支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ 農村地域での共同管理活動の継続

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県、氷見市土地改良区及び地域が連携し、日本型直接支払を活用し、地域の農地、ため池、用排水路や農道などの農業施設の地域住民による維持管理活動を実施する。

| | |
|---------------|--------------------|
| [目標指数] | 日本型直接支払の取組団体数（年間） |
| | 現状値（令和6年度）… 94団体 |
| | 目標値（令和12年度）… 119団体 |

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

地域住民により農業施設の維持管理活動を継続し、農地が維持され、農作物の安定した収穫及び収益維持に貢献するだけでなく、農村の景観や生物多様性にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・地域住民：農業施設（農地、ため池、用排水路など）の維持管理活動
- ・氷見市土地改良区：農業施設の維持管理に係る技術指導、研修会の開催

- ・氷見市：事業に係る地域への支援、指導、助言
- ・富山県：事業に係る支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

(2) 氷見の食文化の衰退

ア 食育の推進

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県、氷見市農業協同組合、氷見水産加工業協同組合、氷見鮮魚商組合や食育ボランティアなどが連携し、氷見の豊かな里山、里海の食材を活かした、料理教室や体験教室などを実施する。

【目標指数】 氷見の食文化に関する料理教室などの開催数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 40 回

目標値（令和 12 年度）… 36 回（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

家庭、学校、保育所や地域などで、地域の食材を活用した料理教室などを実施し、地域住民が氷見の食材や料理などの素晴らしさを再認識することで、氷見の食文化の継承に貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市：料理教室の企画と調整、運営、広報活動
- ・氷見市農業協同組合：旬の農作物の確保、提供
- ・氷見水産加工業協同組合：ミリン干しなどの加工技術の指導、説明
- ・氷見鮮魚商組合：魚のさばき方の技術指導、説明
- ・食育ボランティア：園児や親子に伝統料理などの技術指導
- ・市内小中学校、保育所、認定こども園：料理教室に参加し体験する（料理し食べる）
- ・地域住民：料理教室に参加し体験する（料理し食べる）

d 予算の確保予定

市の補助事業を活用する。

イ 食に関するイベントの開催

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県、氷見商工会議所、氷見市農業協同組合及び氷見市観光協会などが連携し、氷見の食の魅力を発信するため、食に関するイベントを開催するとともに、食に関わる人材の育成・確保などの講演会等を開催する。

〔目標指数〕 食に関するイベントの開催数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 3 回

目標値（令和 1 2 年度）… 3 回以上（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

食に関するイベントを開催することで、多くの観光客が訪れ地域の活性化に貢献するだけでなく、地域住民や就業希望者が氷見の食材や料理などの素晴らしさを再認識することで、氷見ならではの食文化の継承にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市：イベントの企画と調整、運営、広報活動
- ・氷見商工会議所：イベント企画、運営への協力、広報活動
- ・氷見市農業協同組合：旬の農作物の確保、提供、出店
- ・氷見市観光協会：イベント企画、運営への協力、広報活動
- ・地域住民：イベントへの出店及び参加

d 予算の確保予定

国、市の補助事業を活用する。

(3) 氷見の伝統芸能や祭りの衰退

ア 氷見の伝統芸能や祭りの保存・伝承

a 戦略及び行動、定量目標

地区の自治会や青年団、保存会などが協力して、各地区において獅子舞など奉納しており、これからも地域の伝統芸能を継続するとともに、古くなった獅子舞用具の新調などへの助成や獅子舞等の実施地域への支援を行うことで、継承を支援する。また、次世代育成のための獅子舞体験会の開催や氷見獅子舞ミュージアムでの実演

会、獅子頭などの展示により、市内外に獅子舞の魅力を発信する。

〔目標指数〕 春祭り及び秋祭りにおいて獅子舞の実施地区数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 春祭り 23 地区、秋祭り 28 地区

目標値（令和 12 年度）…春祭り 23 地区、秋祭り 28 地区

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

獅子舞などを通して幅広い世代が交流する中から、子どもたちが祭りと郷土との関わりを学び、郷土を誇りに思う気持ちが醸成され、地域の連帯感も高まり、氷見の伝統芸能や祭りの継承に貢献するだけでなく、地域の活動の円滑化や活性化にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・自治会：祭礼や伝統芸能の運営
- ・青年団及び保存会：伝統芸能の計画、準備、運営、次世代育成事業の実施
- ・地域住民：祭礼や伝統芸能などへの参加
- ・神社：祭礼の実施
- ・氷見市：伝統芸能、次世代育成事業への支援

d 予算の確保予定

- ・市の地域活力創造事業による補助金
- ・獅子舞の花代（祝儀）などにより運営する。

5 ランドスケープ及びシースケープの特長

A 脅威及び課題の分析

氷見の海岸沿いには、海岸付近までせり出している魚つき保安林があり、海域には藻場があることで300種類以上もの多様な魚種を育み、地域の人々の知恵と技術により400年以上の年数をかけ定置網漁業を発展させてきた。

さらに、半農半漁の営みにより、海だけでなく、森林、水田やため池などの農地の環境保全や地域をつなぐ伝統と文化が関連しあい地域的なつながりを形成してきた。漁業を中心として農山漁村が深く結びついていることで独特なシースケープが形成されている。

しかし、氷見市では、第一次産業従事者の高齢化や担い手不足の進行により、農業、林業や漁業従事者が年々減少している。これにより、漁村地域では、定置網漁業が衰退することで昔と変わらぬ漁村での人々の営む風景や景観などの氷見特有のシースケープの維持が難しくなってしまうことが危惧される。また、漁業従事者の減少に伴い、これまで実施されてきた森づくり活動の継続も困難となっている。農山村地域では、農業や林業が衰退することで荒廃した農地や森林が増加し、農山村での人々の営む風景や氷見特有の棚田、富山湾や立山連峰の美しい景観が見られなくなることが危惧される。

そのため、氷見市特有のシースケープとランドスケープを維持していくためには、まず、第一次産業の担い手の育成、確保に取り組むことが必要であり、さらに、地域住民の機運醸成を図ることで、漁村地域では定置網漁業の継承、農山村地域では棚田などの保全活動、他地域との交流などに取り組む必要がある。

B 脅威及び課題への対応策

(1) 担い手不足による里山里海の景観の悪化

ア 農業を担う人材の育成・確保【再掲】

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県及び氷見市農業協同組合が連携し、認定農業者及び新規就農者の営農支援の充実を図るため、新規就農者への機械導入の支援、スマート農業の普及に向けたモデル地区での実証試験等により労働生産性を高めて農業所得の向上を図り、次世代を担う農業者の育成・確保に取り組む。

[目標指数] 新規就農者数（年間）

現状値（令和6年度）… 2人

目標値（令和 1 2 年度）… 1 人以上（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

労働生産性を高めて農業所得の向上を図ることで、若者の就農意欲の向上につながる。地域内外からの若者が就農することで、地域の農業が継続的に営まれるだけでなく、耕作放棄地対策にも寄与し、地域の活性化にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・富山県：新規就農に係る事業への支援、指導、助言
- ・氷見市：新規就農に係る事業の企画・支援及び地域外からの新規就農者に対する支援
- ・氷見市農業協同組合：地域における新規就農希望者の発掘、営農指導、助言
- ・農業経営体：新規就農者・経営体への営農指導、交流

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ 林業を担う人材の育成・確保【再掲】

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県及びひみ里山杉活用協議会が連携し、林業就業意欲を高めることや氷見の林業に触れる機会の充実を図るため、ひみ里山杉振興推進事業などを活用し、次世代を担う林業者の育成・確保に取り組む。

〔目標指数〕 各種林業体験への参加者数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 3 6 2 人

目標値（令和 1 2 年度）… 3 6 2 人（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

地域内外からの若者が林業に就業することで、地域の林業が継続的に営まれるだけでなく、森林の保全にも寄与し、また、地域の活性化にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・ひみ里山杉活用協議会：地域における新規就業者の発掘、技術指導、助言
- ・富山県：新規就業者に係る事業の企画・政策への支援

- ・氷見市：新規就業者に係る事業の企画・政策・支援及び地域外からの新規就業者に対する支援
- ・林業経営体：新規就業者への技術指導、交流

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

ウ 漁業を担う人材の育成・確保【再掲】

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市と氷見漁業協同組合が連携し、氷見の漁業に触れる機会の充実を図るため、氷見高等学校海洋科学科を対象とした後継者育成漁業体験教室などを実施し、次世代を担う漁業者の育成・確保に取り組む。また、新規就業者の増加と定着を図るため、漁業就業支援フェアへの経営体の出展や、経営体での研修の受入環境の整備を行う。加えて、多様な人材の漁業への参画や経営体の収益の多元化を図るため、養殖技術の確立に取り組み、養殖業の定着を図る。

[目標指数] 氷見高等学校海洋科学科のうち水産業への新規漁業就業者数
(年間)

現状値（令和 6 年度）… 1 人

目標値（令和 1 2 年度）… 2 人以上（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

氷見高等学校海洋科学科の生徒や就業希望者が地域の漁業経営体に就業し定着することで、地域の定置網漁業が継承されるだけでなく、多様な人材の確保により、地域の活性化にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見漁業協同組合：漁業体験教室の技術指導、交流、事業への助言
- ・氷見市：漁業体験教室の企画、運営、事業の支援
- ・漁業経営体：事業の実施、定置網漁業の体験、交流、環境整備

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

(2) 棚田地域の景観の悪化

ア 棚田地域の環境保全活動

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県、氷見市農業協同会、氷見市土地改良区、氷見高等学校及び指定地域（旧村）の地域住民からなる「氷見市棚田振興協議会」は、氷見市指定棚田地域振興活動計画に基づき、各地域の棚田を活用した独自の活動を実施する。また、棚田地域の農地を守るためイノシシ等の鳥獣被害防止対策を実施する。

[目標指数] 棚田地域での独自の取組件数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 5 件

目標値（令和 1 2 年度）… 5 件

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

棚田地域での農地等の保全活動や集落独自の活動に取り組むことで、棚田地域が持つ農地等の機能が十分に発揮され、氷見地域での洪水防止や土砂流出防止につながり里山、里海の環境保全に大きく貢献する。また、棚田を活用した活動を通して地域以外の方と交流することで、地域の活性化にも貢献する。さらに、イノシシなどの鳥獣被害防止対策を継続的に実施することで持続的な農業にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・ 地域住民：棚田の環境保全活動、集落独自の活動の実施、イベントの企画、運営、伝統芸能の伝承
- ・ 氷見市農業協同組合：棚田地域での担い手育成、営農指導
- ・ 氷見市土地改良区：農地等の環境保全活動の技術指導、研修会の開催
- ・ 猟友会、氷見市鳥獣被害対策実施隊：鳥獣被害防止対策の企画、実施
- ・ 富山県：棚田地域の保全・活用活動への支援、指導、助言
- ・ 氷見市：氷見市棚田振興協議会の事務、指定地域への支援、イベント企画、運営への協力

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ 細越集落の棚田保全・活用

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県、氷見市農業協同組合及び地域住民が連携しながら棚田でハトムギを栽培し、煎餅やお茶等に加工販売する。さらに、ハトムギオーナー事業を実施し、イベントを通して他地域の人々と交流を図る。

【目標指数】 ハトムギオーナー数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 20 オーナー

目標値（令和 12 年度）… 20 オーナー

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

細越集落の棚田では、ハトムギを栽培することで、棚田地域が有する多面にわたる機能（農産物の供給、国土の保全、水源の涵養、生物の多様性の確保その他自然環境の保全、良好な景観の形成等）が維持され棚田等の保全に貢献している。また、ハトムギオーナー事業のイベントで他地域の人々との交流が行われることで集落の活性化にも大きく貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・細越ハトムギオーナーの会：棚田でのハトムギ栽培、加工、販売、イベントの開催
- ・地域住民：イベントでの地域農産物などを使った料理の提供
- ・氷見市農業協同組合：ハトムギ栽培、加工、販売などの技術指導、イベントの企画、運営
- ・氷見市：イベントなどへの支援、協力、広報活動
- ・富山県：ハトムギ栽培、加工、販売などの技術指導

d 予算の確保予定

- ・国、県、市の補助事業を活用する。
- ・オーナー料

ウ 論田・熊無地区の棚田保全・活用

a 戦略及び行動、定量目標

論田・熊無地区では、氷見市、富山県が連携しながら、地域住民が中心となり、棚田で栽培したもち米を活用した特産の草もちを生産・販売しており、これを継続する。また、棚田での稲刈りや地域の文化を体験する農業体験等を活かした棚田保全・活用の実施や国の重要無形民俗文化財に指定された藤箕の作成体験を実施し、

他地域からの参加者との交流を図る。

〔目標指数〕 論田・熊無地区での農業イベント実施回数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 1 回

目標値（令和 1 2 年度）… 1 回

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

論田・熊無地区の棚田ではもち米の生産を通じて、もち米を活用した特産物品を生産・販売することで、棚田地域が有する多面にわたる機能が維持され棚田等の保全に貢献する。また、農業インターンシップなど地域の人々と他地域の人々との交流が行われることで集落の活性化にも大きく貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・地域住民：稲刈りや草餅の技術指導、他地域との交流、棚田の保全
- ・氷見市：イベントなどへの支援、広報活動
- ・富山県：事業に関する指導、助言、イベントへの支援

d 予算の確保予定

- ・国、県、市の補助事業を活用する。

エ 長坂集落の棚田保全・活用

a 戦略及び行動、定量目標

長坂集落では、氷見市、富山県が連携しながら、地域住民や氷見市農業協同組合が中心となり、棚田で特別栽培米などを生産・販売しており、これを継続する。また、棚田オーナー事業を実施し、田植え、稲刈りや前夜祭などイベントを通して他地域の人々との交流を図る。

〔目標指数〕 棚田オーナー数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 4 3 オーナー

目標値（令和 1 2 年度）… 4 0 オーナー以上

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

長坂集落の棚田では、特別栽培米を栽培することで、棚田地域が有する多面にわたる機能が維持され棚田等の保全に貢献する。また、棚田オーナー事業のイベントなど他地域の人々との交流が行われることで集落の活性化にも大きく貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・地域住民（椿衆）：棚田での田植え・稲刈りの技術指導、オーナーとの交流、棚田の保全
- ・地域住民（ひめ椿衆）：棚田オーナーへの料理の提供
- ・氷見市農業協同組合：特別栽培米の技術指導、イベント協力
- ・氷見市：イベントなどへの支援、イベントの企画、運営、広報活動
- ・富山県：特別栽培米の技術指導、助言、イベントへの支援

d 予算の確保予定

- ・国、県、市の補助事業を活用する。
- ・オーナー料

(3) 沿岸域の環境の悪化

ア 沿岸域の環境の保全のための漁場・藻場の保全活動

a 戦略及び行動、定量目標 【再掲】

氷見市水産多面的機能発揮対策協議会及び氷見漁業協同組合、氷見市が連携し、富山湾及び氷見沿岸域をきれいな海として維持するとともに、氷見沿岸域の漁場・藻場の環境保全を図るため、海岸清掃、母藻の設置、岩盤清掃、流域における植林や下草刈りなどを実施する。また、温暖化等による環境変化を把握するため、藻場の植生の変化について調査を行う。

【目標指数】 藻場の環境保全活動の回数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 0 回

目標値（令和 1 2 年度）… 4 回以上（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献 【再掲】

海岸清掃、母藻の設置、岩盤清掃などを実施することで、富山湾及び氷見沿岸域の漁場・藻場の機能及び環境が保全され、富山湾及び氷見沿岸域の生物多様性の保全に貢献するだけでなく、定置網漁業の継承にも貢献する。また、藻場の植生調査を行うことで、沿岸域の温暖化等による環境の変化を把握し、今後の藻場の保全に活用する。

c 各主体の関与の方法 【再掲】

- ・氷見市水産多面的機能発揮対策協議会：漁場、藻場の機能及び環境保全に係

る事業の企画、運営

- ・氷見漁業協同組合：事業に係る企画、運営、調整
- ・氷見市：事業に係る支援
- ・富山県：藻場の植生調査、事業に係る支援、指導、助言
- ・漁業経営体：各種活動への参加

d 予算の確保予定 【再掲】

国、県、市の補助事業を活用する。

6 変化に対するレジリエンス

A 脅威及び課題の分析

氷見市では古くから、地域の自然環境と向きあい、地域ぐるみで自然環境を活かし、守りながら漁業や農業、林業を営んできた。これらの営みにより、豊かな恵みをもたらす里海や里山が良好な状態に守られてきたが、氷見の中山間地域の地質は地滑りを起こしやすく、これまでも幾度となく大きな地滑りに見舞われてきた。また、大雨や干ばつなどからも、農作物などを守りながら、克服してきた。

しかし、近年の地球温暖化が要因とされる記録的な豪雨は、氷見の海岸に流木などの多くの漂着物をもたらし、美しい海岸の喪失、生態系を含む海岸環境の悪化、海岸機能の低下、漁業への被害などが課題となっている。また、築造からかなりの年数が経過したため池においても決壊等が脅威となり、改修が課題となっている。

また、令和 6 年能登半島地震により特に沿岸地域に甚大な被害が発生し、国や他の自治体、ボランティア等の支援により復旧・復興が進んでいるが、まだ道半ばの状況にあり、被災した伝統ある家屋の復旧など、漁村文化の継承に向けた取組が必要となっている。

そのため、市民総ぐるみで行う環境美化活動や海岸美化活動、森林の保全活動を継続的に実施する。また、気候変動に伴う災害に対応するため、土砂災害やため池の防災対策を推進し、地域防災力を高めるとともに、震災からの復興計画を各地域の実情に合わせ策定し氷見地域全体で復興に取り組み、氷見の農林水産業を継続的に営む環境を作っていく必要がある。

B 脅威及び課題への対応策

(1) 農山漁村における環境の悪化

ア 市民総ぐるみの環境美化活動

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県、氷見市観光協会、市内事業所、ボランティア団体及び地域住民などが一体となり、氷見の美しい自然環境と景観を守り、次世代に継承するため、市民一斉清掃や氷見クリーン大作戦などの環境美化活動を積極的に実施する。

〔目標指数〕 市内一斉清掃への参加者数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 10,000 人

目標値（令和 12 年度）… 10,000 人（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

様々な団体等が環境美化活動を実施することにより、氷見の豊かで美しい里山里海の自然環境や景観の次世代への継承に貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・環境ボランティア団体：美化活動などへの協力、参加
- ・地域住民：美化活動などへの参加
- ・市内事業所：美化活動などへの協力、参加
- ・氷見市観光協会：美化活動などの企画、運営
- ・氷見市：地域住民美化活動などへの支援、指導、参加
- ・富山県：美化活動への支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ 海を守る海岸美化活動

a 戦略及び行動、定量目標

氷見商工会議所、市内各種団体、氷見市及び地域住民が一体となり、島尾から脇にかけての約 20 km の海岸に漂着している空き缶、ペットボトルなどの回収や流木の撤去などの海岸美化活動を実施する。

[目標指数] 清掃ボランティア活動団体数 (年間)

現状値 (令和 6 年度) … 79 団体

目標値 (令和 12 年度) … 72 団体以上 (毎年)

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

様々な団体等が海岸美化活動を実施することで、海岸の自然環境保全や景観の維持に貢献するだけでなく、水産資源の保全、持続的な利用にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・市内各種団体：海岸美化活動への参加、協力
- ・地域住民：海岸美化活動への参加、協力
- ・氷見市：海岸美化活動への支援、参加、協力、広報活動

- ・富山県：海岸美化活動への支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

ウ 森林・山村の多面的機能発揮に向けた取組の推進

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県及び地域住民等からなる活動組織や団体が連携し、森林・山村多面的機能発揮対策事業を活用し、集落周辺の美しい里山林を維持するため、風倒木や枯損木の除去、集積、処理などの景観保全・整備活動などに取り組む。また、次世代を担う人材の育成・確保に取り組み、地域住民等からなる活動を実施する団体等の持続性を確保する。

[目標指数] 森林・山村の多面的機能発揮対策交付金申請件数（年間）

現状値（令和~~6~~7年度）… 1 団体

目標値（令和12年度）… 1 団体以上（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

地域住民等からなる活動組織や団体の取組によって、水源涵養機能、洪水防止機能や土砂崩壊防止機能などが維持され、国土の保全に貢献するだけでなく、山村の景観や生物多様性、山村地域の活性化にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・地域住民：地域住民の共同活動による森林保全への取り組み
- ・富山県西部森林組合：保全活動を実施する集落への技術指導、研修会など
- ・富山県：事業に係る支援、指導、助言
- ・氷見市：事業に係る支援

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

エ 被災した漁村における復興への取組の推進

a 戦略及び行動、定量目標

令和6年能登半島地震により甚大な被害がもたらされた沿岸地域において、沿岸

地域の文化やコミュニティーを維持するため、氷見市及び地域住民等からなる活動組織や団体が連携して、地域に根差した自主的な復興に関する計画を策定し、復興に取り組む。

【目標指数】 能登半島地震による被害が甚大な 4 地区の地域復興計画の策定
(累計)

現状値 (令和 6 年度) … —

目標値 (令和 1 2 年度) … 4 地区

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

地域住民等からなる活動組織や団体の取組によって、漁村文化が維持・継承され、地域に活気が戻るだけでなく、地域の管理を行うことで国土の保全に貢献し、沿岸地域の景観や生物多様性にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・地域住民：復興に関するアイデア抽出、課題の整理、計画の策定、事業の実施
- ・氷見市：復興に関する各地区の計画の調整・とりまとめ、事業に係る支援
- ・富山県：事業に係る支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

(2) 気候変動に伴う災害の増加

ア 土砂災害防止対策等の推進

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市及び富山県が連携し、急傾斜地崩壊防止対策や地すべり防止対策などを実施する。また、地域住民に対して、土砂災害等警戒区域等の周知や防災意識の高揚を図る。

【目標指数】 土砂災害特別警戒区域に係る各年度の要望に対する対応（事業着手）率（年間）

現状値 (令和 6 年度) … 1 0 0 . 0 %

目標値 (令和 1 2 年度) … 1 0 0 . 0 %を維持

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

氷見市は、土砂災害が発生しやすい地域であるため、土砂災害等の防止対策や地域住民への防災意識の高揚に取り組むことで、集落にある森林、農地や公共施設等の災害を未然に防ぐとともに、地域の防災力の向上にも貢献する。また、里山から里海までの環境保全、生態系保全にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・ 富山県：事業に係る支援、指導、助言
- ・ 氷見市：土砂災害警戒区域の調査・点検や土砂災害等の防止工事の実施
- ・ 地域住民：土砂災害等などの防災訓練などに参加、防災に関する研修への参加

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ ため池の防災対策の推進

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県及び氷見市土地改良区が連携し、防災重点ため池に位置付けられているため池の改修工事を推進する。

〔目標指数〕 防災重点農業用ため池の改修完了箇所数（累計）

現状値（令和 6 年度）… 9 箇所／180 箇所

目標値（令和 12 年度）… 18 箇所／180 箇所

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

防災重点ため池に位置付けられているため池の改修工事などを実施することで、災害を未然に防止するとともに農業生産の維持と農業経営の安定を図ることに貢献する。また、里山から里海までの環境保全、生態系保全にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・ 富山県：事業に係る改修工事、支援、指導、助言
- ・ 氷見市：ため池事業に係る調査
- ・ 氷見市土地改良区：ため池の維持、管理
- ・ 地域住民：ため池の維持、管理

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

ウ 地域防災力の強化

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県及び地域住民などが連携し、各地区にある自主防災会の組織強化や自主防災訓練及び防災教育などを実施する。

〔目標指数〕 氷見市防災ネットワーク加入者数（累計）

現状値（令和 6 年度）… 1 4 7 人

目標値（令和 1 2 年度）… 2 9 7 人

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

各地区にある自主防災会の組織強化やリーダーの育成を図り、地域防災訓練を実施することで、地域住民の地域防災意識の向上に貢献するだけでなく、災害が発生した場合にでも、地域住民が円滑に避難や復旧活動等が行える体制づくりにも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・自主防災会：地域防災に係る全般的な企画、運営、実施
- ・自治会：自主防災会が開催する防災研修、訓練の企画、運営の協力
- ・地域住民：防災研修、防災訓練への参加
- ・氷見市：地域防災への支援、指導、助言
- ・富山県：地域防災への支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

7 多様な主体の参画

A 脅威及び課題の分析

氷見市では、急速に人口減少、少子高齢が進展していることに伴い、第一次産業従事者数が減少している。この第一次産業従事者の減少は、伝統的な定置網漁業や農業、林業にとっても課題であり、作業の機械化や圃場・施業路の整備などが行われている。

しかし、伝統ある定置網漁業をはじめ、氷見の農林水産業を次世代へ継承するためには、担い手不足は大きな脅威である。

そのため、各種団体や地域住民だけでなく市外の方々など多様な人々が、氷見の自然の中で漁業や農業、林業に触れることで、農林水産業に興味や関心を持つ機会づくりに取り組む必要がある。

B 脅威及び課題への対応策

(1) 農林水産業の担い手不足

ア 休耕田を有効活用した農業体験の推進

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県、氷見市農業協同組合及び地域住民が連携し、市内の園児、小学生などが耕作放棄地での氷見の特産品であるハトムギ、ネギ、マコモタケなどの種まき、苗植えや刈り取りなどを体験し、収穫した特産品を食べることで食育にも貢献する。

【目標指数】 市内の保育園、小学校での特産品農業体験取組園（校）数
(年間)

現状値（令和 6 年度）… 19 園（校）

目標値（令和 12 年度）… 19 園（校）（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

市内の園児、小学生などが地域住民と一緒に、氷見の特産品の農業体験に取り組むことで、耕作放棄地の解消と拡大の抑制に貢献するだけでなく、次代を担う子どもたちが農業を通し、ふるさと氷見への愛着と誇り心を育むことで、将来的に農業従事者確保にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市農業協同組合：特産品農業体験の企画、運営、技術指導
- ・地域住民：特産品農業体験での講師、耕作地の管理
- ・保育園、小学校：特産品農業体験への参加
- ・氷見市：特産品農業体験への支援、広報、特産品給食の実施
- ・富山県：特産品農業体験への支援、技術指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ 長坂集落の棚田保全・活用 【再掲】

a 戦略及び行動、定量目標 【再掲】

長坂集落では、氷見市、富山県が連携しながら、地域住民や氷見市農業協同組合が中心となり、棚田で特別栽培米などを生産・販売しており、これを継続する。また、棚田オーナー事業を実施し、田植え、稲刈りや前夜祭などイベントを通して他地域の人々との交流を図る。

〔目標指数〕 棚田オーナー数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 43 オーナー

目標値（令和 12 年度）… 40 オーナー以上

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

長坂集落の棚田では、特別栽培米を栽培することで、棚田地域に有する多面にわたる機能が維持され棚田等の保全に貢献している。また、棚田オーナー事業のイベントなど他地域の人々との交流が行われることで集落の活性化にも大きく貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・地域住民（椿衆）：棚田での田植え・稲刈りの技術指導、オーナーとの交流、棚田の保全
- ・地域住民（ひめ椿衆）：棚田オーナーへの料理の提供
- ・氷見市農業協同組合：特別栽培米の技術指導、イベント協力
- ・氷見市：イベントなどへの支援、イベントの企画、運営、広報活動
- ・富山県：特別栽培米の技術指導、助言、イベントへの支援

d 予算の確保予定

- ・国、県、市の補助事業を活用する。
- ・オーナー料

ウ 氷見産材を活用した木育の推進

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、林業・木材加工業関係者、子育て支援関係者、金融機関、NPO団体からなる氷見市木育会議において、氷見市木育ビジョンを策定した。これを基に、氷見市海浜植物園（シーサイドパーク）を拠点に、子どもからお年寄までの幅広い世代が木と触れ、遊び、作るなどの体験できる木育イベントを実施する。

[目標指数] 氷見市海浜植物園入園者数（年間）

現状値（令和6年度）… 90,246人

目標値（令和12年度）… 100,000人

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

木のおもちゃに触れる体験や木工ワークショップなど、子どもから大人までの木育体験活動を通して、木や木工技術の素晴らしさを感じるとともに、森林が持つ水源涵養などの役割について理解を深めることで、森林や関連する自然環境を大切に
する意識を高め、自然環境と深いかかわりがある農林水産業への関心や理解を図る。

c 各主体の関与の方法

- ・木育推進組織：木育推進の体験、イベントなどの企画、運営
- ・地域住民：木育体験、イベントへの参加
- ・氷見市：木育推進のための支援、広報
- ・富山県：木育推進のための支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

エ 水産資源の保全活動

a 戦略及び行動、定量目標

漁業経営体や氷見漁業協同組合などからなる氷見市水産多面的機能発揮対策協

議会や氷見市が連携し、地元の保育園児、小中学生や高校生などが参加し、クロダイやヒラメなどの稚魚を放流する種苗放流や藻場保全、清掃活動などの水産多面的発揮対策事業に取り組む。また、新たな参加者を広く募り P R 等を充実して活動の参加者を増やす。

〔目標指数〕 水産多面的機能発揮対策事業に参加した人数（年間）

現状値（令和 6 年度）… 2 2 4 人

目標値（令和 1 2 年度）… 2 0 0 人以上

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

保育園児、小中学生や地域住民など多様な主体が参加する種苗放流活動などに持続的に取り組むことで、漁業と農業、林業へのつながりについて理解を深めることに貢献するだけでなく、漁業従事者の増加につながり氷見の漁業の継承にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・氷見市水産多面的機能発揮対策協議会：事業に係る企画、調整、運営
- ・氷見漁業協同組合：事業への協力
- ・富山県西部森林組合：事業への協力、技術指導
- ・漁業経営体：事業への参加、協力
- ・富山県：事業に係る支援、技術指導、助言
- ・氷見市：事業に係る支援、協力、広報活動

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

オ 環境にやさしい農業の推進

a 戦略及び行動、定量目標

氷見市、富山県、氷見市農業協同組合及び農業経営体が連携し、国及び富山県が定めた指針に基づいたみどり認定制度を活用し、「たい肥などの有機物を利用した土づくり」と「化学肥料・農薬の使用の低減」を一体的に行う、持続性の高い農業生産方式の導入に取り組む農業者の育成支援等を行うとともに、これらの取組に対する消費者等の理解を促進する。

〔目標指数〕 みどり認定農業経営体（年間）

現状値（令和 6 年度）… 17 経営体

目標値（令和 12 年度）… 17 経営体

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

みどり認定制度による環境にやさしい農業に取り組むことで、農作物の付加価値が高くなり収益の向上に貢献するだけでなく、自然環境保全にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・ 富山県：みどり認定、技術指導
- ・ 氷見市農業協同組合：農業経営体への制度の周知、技術指導
- ・ 農業経営体：環境にやさしい農業の取組
- ・ 氷見市：農業経営体への制度の周知、広報

d 予算の確保予定

農業改良資金（無利子）の利用。

8 6次産業化の推進

A 脅威及び課題の分析

氷見市には、豊富な農林水産資源があるが、魚価及び農産物、木材の価格の低迷により、第一次産業を取り巻く環境はますます厳しくなっており、多様な資源を活用した所得向上につながる取組が求められている。

そのため、生産者、製造業、小売業者などの共同により、新たな商品開発や販路拡大などの6次産業化に取り組み、新ビジネス・新業態の創出による第一次産業従事者の所得の向上や雇用の確保を図ることで、農林水産業の持続的な発展につなげる。

B 脅威及び課題への対応策

(1) 農林水産業の衰退と所得の減少

ア 特色ある農産物の6次産業化の推進

a 戦略及び行動、定量目標

氷見の特色ある農産物（ハトムギ、稲積梅、ブドウ、灘浦みかん、氷見牛など）を活用し、産学官連携による消費者ニーズに対応した新商品を開発し、販路拡大を図る。

[目標指数] 6次産業化の取組による新商品開発数（累計）

現状値（令和6年度）… 0件

目標数（令和12年度）… 5件

b 申請地域の動的保全に対するaの貢献

農業経営体が産学官連携による農産物の6次産業化に取り組むことで、農業経営体の所得向上に貢献するだけでなく、地域の活性化と農業・農村の継承にも貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・ 農業経営体：新商品の開発
- ・ 製造業者：新商品開発での技術指導、助言
- ・ 小売業者：新商品の流通に係る指導、助言
- ・ 高等教育機関：新商品の開発への助言
- ・ 氷見市農業協同組合：6次産業化に係る事業への支援、協力、広報

- ・氷見市：6次産業化に係る事業への支援、協力、広報
- ・富山県：6次産業化に係る事業への支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

イ 水産資源を活用した6次産業化の推進

a 戦略及び行動、定量目標

水産関係者は、企業や団体と連携し、定置網漁業で水揚げされた未利用、低利用魚を活用し、市内飲食店・民宿と連携した新たなメニューの開発、普及に取り組む。また、飲食店等で破棄される魚の皮を利用してフィッシュレザー（魚皮革）を製造し、雑貨などに加工するなど、新たな付加価値の創出にも取り組む。

[目標指数] 未利用・低利用魚活用店舗数（年間）

現状値（令和6年度）… 2件

目標値（令和12年度）… 2件以上（毎年）

b 申請地域の動的保全に対する a の貢献

水産関係者による水産資源を活用した6次産業化に取り組むことで、付加価値による水産関係者の所得向上に貢献する。

c 各主体の関与の方法

- ・水産関係者：水産物の生産、販売
- ・市民グループ：新商品の加工、製造
- ・飲食業者：新商品の加工、製造、販売、広報
- ・氷見市：6次産業化に係る事業への支援、協力、広報
- ・富山県：6次産業化に係る事業への支援、指導、助言

d 予算の確保予定

国、県、市の補助事業を活用する。

第3 モニタリング方法

保全計画については、「氷見農業遺産推進協議会」において進捗状況等の確認を行う。毎年度開催する総会において、事業の進捗状況報告し、各取組の実施方法、スケジュールについて確認する。

具体的なモニタリングについては、氷見農業遺産推進協議会の事務局が行う。さまざまな実施主体の進捗状況や課題等を確認し、保全計画の修正を行う。

取組状況については、当協議会の幹事会（市担当部署の部長及び課長）や学術経験者等により評価・検証する。

第4 考察

本保全計画で最重要視される課題及び脅威は、高齢化に伴う後継者不足である。高齢化が進むにつれ、雇用の量と質の減少、耕作放棄地の拡大、生産量の低下により産業の衰退が進むだけでなく、伝統的な祭りや食文化の担い手が減少すると、地域に対する愛着や誇り、街の魅力、さらには集落としての機能までもが低下してしまう。また、自然環境や景観の悪化、里海里山の手入れ不足による災害の発生など多面的機能にも影響を及ぼす。

保全計画の着実な実施により、当地域の漁場環境の保全につながるとともに、越中式定置網漁法の国内外への普及による適正な水産資源管理が行われることで、水産資源の継続的な利用が可能となり、当地域の食料及び生計が保障される。越中式定置網を行う漁業者が増えることにより、地域の水産加工業や卸売業、運送業などに経済効果が波及し新規雇用にも役立ち地域の活性化につながる。

また、第一次産業の継続性が確立されることで、農林水産業の営みと共存してきた当地域の生物多様性が保全されるとともに、その営みの中で英知を結集して創造し、継承してきた400年の歴史を持つ越中式定置網漁業や豊かな食文化などが次世代へと受け継がれる。

当地域では、本保全計画を計画から実行に移し、着実に成果を挙げていくことで、地域全体で氷見のすばらしさを再認識し、地域に住んでいる人々がふるさとに愛着と誇りを持てる環境を整え、国内外に氷見のブランドを発信することで、これからの当地域の活力につなげる。

世界農業遺産・日本農業遺産保全計画
取組一覧

| 取組 | ページ | 実施者 | 実施時期 | | | | | 指標 | | |
|---------------------------|-----|--------------------------------------|------|----|-----|-----|-----|---------------------------------|----------------------|------------------------|
| | | | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | 目標指標 | 現状値 | 目標値 |
| 1 食料及び生計の保障 | | | | | | | | | | |
| (1) 第一次産業就業者の減少 | | | | | | | | | | |
| ア 農業を担う人材の育成・確保 | 2 | ◎富山県、氷見市、氷見市農業協同組合、農業経営体 | | | | | | 新規就農者数(年間) | 2人 | 1人以上(毎年) |
| イ 林業を担う人材の育成・確保 | 3 | ◎ひみ里山杉活用協議会、富山県、氷見市、林業経営体 | | | | | | 各種林業体験への参加者数(年間) | 362人 | 362人(毎年) |
| ウ 漁業を担う人材の育成・確保 | 4 | ◎氷見漁業協同組合、氷見市、漁業経営体 | | | | | | 氷見高等学校海洋科学科のうち水産業への新規漁業就業者数(年間) | 1人 | 2人以上(毎年) |
| (2) 耕作放棄地及び荒廃した山林の増加 | | | | | | | | | | |
| ア 耕作放棄地の復元整備の強化 | 5 | ◎地域事業者や団体、富山県、氷見市、氷見市農業協同組合 | | | | | | 荒廃農地復元整備面積(累計) | 12a | 40a (令和8年度から5年間の累計) |
| イ 地域振興作物による水田フル活用の推進 | 5 | ◎氷見市農業協同組合、富山県、氷見市、耕種農家 | | | | | | 地域振興作物の作付面積(年間) | 4,186a | 4,186a |
| ウ 森林施業の集約化による森林の保全 | 6 | ◎富山県西部森林組合、富山県、氷見市、林業経営体 | | | | | | 森林経営計画の対象となる森林面積(年間) | 952ha | 450ha(毎年) |
| エ 市民による森づくり活動の推進 | 7 | ◎ひみ里山杉活用協議会、市民、富山県、氷見市、林業経営体 | | | | | | 市民による森づくり活動参加者数(年間) | 66人 | 80人 |
| (3) 野生鳥獣による農作物被害の拡大 | | | | | | | | | | |
| ア 野生鳥獣による農作物被害対策の強化 | 8 | ◎氷見市鳥獣被害防止対策協議会、氷見市、富山県、氷見市猟友会、地域住民 | | | | | | 野生鳥獣による農作物被害金額(年間) | 536万円 | 295万円以下 |
| (4) 農産物、木材及び魚の価格の低迷 | | | | | | | | | | |
| ア 農産物の高付加価値化 | 9 | ◎氷見市農業協同組合、富山県、氷見市、農業経営体 | | | | | | 付加価値の高い農産物の生産への助成件数(年間) | 4件 | 4件(毎年) |
| イ ひみ里山杉の需要拡大と販路拡大 | 9 | ◎ひみ里山杉活用協議会、富山県西部森林組合、富山県、氷見市、林業関連企業 | | | | | | 氷見産木材の生産量(年間) | 15,190m ³ | 15,190m ³ |
| ウ 水産物の消費拡大とブランド強化 | 10 | ひみの食ブランディング協議会、氷見市、富山県 | | | | | | ふるさと納税寄附受入額(年間) | 9億円 | 7億円以上(毎年) |
| エ 農林水産業の観光向け商品開発や体験型観光の構築 | 11 | ひみの食ブランディング協議会、市内企業、氷見商工会議所、氷見市、富山県 | | | | | | 観光入込客数(年間) | 210万人 | 230万人 |

世界農業遺産・日本農業遺産保全計画 取組一覧

| 取組 | ページ | 実施者 | 実施時期 | | | | | 指標 | | |
|-------------------------------|-----|--|------|----|-----|-----|-----|--------------------------------|-----------|---------------|
| | | | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | 目標指標 | | 現状値 |
| 2 農業生物多様性 | | | | | | | | | | |
| (1) 富山湾及び氷見沿岸域での海洋資源の減少 | | | | | | | | | | |
| ア 水産資源の持続に向けた稚魚放流活動 | 13 | ◎氷見市水産多面的機能発揮対策協議会、氷見市、市内保育園、富山県 | | | | | | 稚魚の放流数(年間) | 103,000尾 | 87,000尾以上(毎年) |
| イ 氷見沿岸域の生物多様性の保全に向けた活動 | 14 | ◎氷見市水産多面的機能発揮対策協議会、氷見漁業協同組合、氷見市、富山県、漁業経営体 | | | | | | 藻場の環境保全活動の回数(年間) | 0回 | 4回以上(毎年) |
| ウ 河川の水質変化の把握 | 15 | ◎富山県、氷見市 | | | | | | 氷見地域の4河川のBOD値(75%水質値、mg/L)(年間) | 1.6 | 5.0以下 |
| (2) 陸域での貴重な動植物の減少 | | | | | | | | | | |
| ア イタセンパラの保護と保全の推進 | 16 | ◎氷見市、富山大学理学部、イタセンパラを守る市民の会、市内小学校、富山県 | | | | | | 保護池でのイタセンパラの個体数(年間) | 1,000個体 | 2,000個体(毎年) |
| イ イタセンパラ等を活用したアクアツーリズムによる環境保全 | 16 | ◎氷見市、氷見市観光協会、アクアツーリズム精通者、地域住民、参加者、富山県 | | | | | | ひみラボ水族館の入館者数(年間) | 11,758人 | 10,000人以上(毎年) |
| ウ トンボの生息数の回復 | 17 | ◎乱橋池周辺のトンボを守る会、氷見市、自治会、市内小学校、富山県 | | | | | | 乱橋池周辺での保全活動、親子トンボ教室の開催数(年間) | 7回 | 9回 |
| エ 十二町瀧オニバスの自生回復への取組 | 18 | ◎氷見市、氷見市オニバス研究会、自治会、市内小学校、富山県 | | | | | | 十二町瀧オニバス発生地でのオニバスの自生(年間) | 発生地での1株自生 | 発生地での自生(毎年) |
| 3 地域の伝統的な知識システム | | | | | | | | | | |
| (1) 次世代の農林水産業人材の減少によるシステムの弱体化 | | | | | | | | | | |
| ア ふるさと教育を通じた農林水産業の普及啓発 | 20 | ◎氷見市、市内小中学校、氷見高等学校、市内企業、地域住民、富山県 | | | | | | 親子地域産業体験に参加した人数(年間) | 63人 | 58人以上(毎年) |
| (2) 伝統ある定置網漁業の衰退 | | | | | | | | | | |
| ア 定置網漁業の市内外への普及 | 21 | ◎氷見市、氷見市立博物館、氷見市観光協会、市内小中学校、富山県 | | | | | | 氷見地域農業遺産についての市民の認知度 | 45.9% | 80.0%以上 |
| イ 定置網漁業の海外への普及 | 22 | ◎氷見市、独立行政法人国際協力機構(JICA)、漁業経営体、氷見漁業協同組合、富山県 | | | | | | 外国人技能実習生受入人数(年間) | 8人 | 8人以上(毎年) |

世界農業遺産・日本農業遺産保全計画
取組一覧

| 取組 | ページ | 実施者 | 実施時期 | | | | | 指標 | | |
|------------------------|-----|--|------|----|-----|-----|-----|---------------------------------|--------------------|--------------------|
| | | | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | 目標指標 | 現状値 | 目標値 |
| 4 文化、価値観及び社会組織 | | | | | | | | | | |
| (1) 人口減少による伝統文化・慣習の衰退 | | | | | | | | | | |
| ア ふるさと教育による郷土愛の醸成 | 24 | ◎氷見市、市内小中学校、氷見高等学校、市内企業、地域住民、富山県 | | | | | | 氷見が好きだと感じている市民の割合(市民アンケート) | 76.4% | 85.0% |
| イ 農村地域での共同管理活動の継続 | 25 | ◎地域住民、氷見市土地改良区、氷見市、富山県 | | | | | | 日本型直接支払の取組団体数(年間) | 94団体 | 119団体 |
| (2) 氷見の食文化の衰退 | | | | | | | | | | |
| ア 食育の推進 | 26 | ◎氷見市、氷見市農業協同組合、氷見水産加工業協同組合、氷見鮮魚商組合、食育ボランティア、市内小中学校、保育所等、地域住民 | | | | | | 氷見の食文化に関する料理教室などの開催数(年間) | 40回 | 36回(毎年) |
| イ 食に関するイベントの開催 | 27 | ◎氷見市、氷見商工会議所、氷見市農業協同組合、氷見市観光協会、地域住民 | | | | | | 食に関するイベントの開催数(年間) | 3回 | 3回以上(毎年) |
| (3) 氷見の伝統芸能や祭りの衰退 | | | | | | | | | | |
| ア 氷見の伝統芸能や祭りの保存・伝承 | 27 | ◎自治会、青年団及び保存会、地域住民、神社、氷見市 | | | | | | 春祭り及び秋祭りにおいて獅子舞を実施した地区数(年間) | 春祭り23地区 秋祭り28地区 | 春祭り23地区 秋祭り28地区 |
| 5 ランドスケープ及びシースケープの特徴 | | | | | | | | | | |
| (1) 担い手不足による里山里海の景観の悪化 | | | | | | | | | | |
| ア 農業を担う人材の育成・確保【再掲】 | 29 | ◎富山県、氷見市、氷見市農業協同組合、農業経営体 | | | | | | 新規就農者数(年間) | 2人 | 1人以上(毎年) |
| イ 林業を担う人材の育成・確保【再掲】 | 30 | ◎ひみ里山杉活用協議会、富山県、氷見市、林業経営体 | | | | | | 各種林業体験への参加者数(年間) | 362人 | 362人(毎年) |
| ウ 漁業を担う人材の育成・確保【再掲】 | 31 | ◎氷見漁業協同組合、氷見市、漁業経営体 | | | | | | 氷見高等学校海洋科学科のうち水産業への新規漁業就業者数(年間) | 1人 | 2人以上(毎年) |

世界農業遺産・日本農業遺産保全計画 取組一覧

| 取組 | ページ | 実施者 | 実施時期 | | | | | 指標 | | |
|--------------------------------|-----|---|------|----|-----|-----|-----|--|-----------|-------------|
| | | | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | 目標指標 | 現状値 | 目標値 |
| (2) 棚田地域の景観の悪化 | | | | | | | | | | |
| ア 棚田地域の環境保全活動 | 32 | ◎地域住民、氷見市農業協同組合、氷見市土地改良区、富山県、氷見市 | | | | | | → 棚田地域での独自の取組件数(年間) | 5件 | 5件 |
| イ 細越集落の棚田保全・活用 | 32 | ◎細越ハトムギオーナーの会、地域住民、氷見市農業協同組合、氷見市、富山県 | | | | | | → ハトムギオーナー数(年間) | 20オーナー | 20オーナー |
| ウ 論田・熊無地区の棚田保全・活用 | 33 | ◎自治会、地域住民、氷見市農業協同組合、富山県、氷見市 | | | | | | → 論田・熊無地区での農業イベント実施回数(年間) | 1回 | 1回 |
| エ 長坂集落の棚田保全・活用 | 34 | ◎椿衆、ひめ椿衆(地域住民)、氷見市農業協同組合、氷見市、富山県 | | | | | | → 棚田オーナー数(年間) | 43オーナー | 40オーナー以上 |
| (3) 沿岸域の環境の悪化 | | | | | | | | | | |
| ア 沿岸域の環境の保全のための漁場・藻場の保全活動 【再掲】 | 35 | ◎氷見市水産多面的機能発揮対策協議会、氷見漁業協同組合、氷見市、富山県、漁業経営体 | | | | | | → 藻場の環境保全活動の回数(年間) | 0回 | 4回以上(毎年) |
| 6 変化に対するレジリエンス | | | | | | | | | | |
| (1) 農山漁村における環境の悪化 | | | | | | | | | | |
| ア 市民総ぐるみの環境美化活動 | 37 | ◎環境ボランティア団体、地域住民、市内事業所、氷見市観光協会、氷見市、富山県 | | | | | | → 市内一斉清掃への参加者数(年間) | 10,000人 | 10,000人(毎年) |
| イ 海を守る海岸美化活動 | 38 | ◎市内各種団体、地域住民、氷見市、富山県 | | | | | | → 清掃ボランティア活動団体数(年間) | 79団体 | 72団体以上(毎年) |
| ウ 森林・山村の多面的機能発揮に向けた取組の推進 | 39 | ◎地域住民、富山県西部森林組合、富山県、氷見市 | | | | | | → 森林・山村の多面的機能発揮対策交付金申請件数(年間) | 1団体 | 1団体以上(毎年) |
| エ 被災した漁村における復興への取組の推進 | 39 | ◎地域住民、富山県、氷見市 | | | | | | → 能登半島地震による被害が甚大な4地区の地域復興計画の策定(累計) | — | 4地区 |
| (2) 気候変動に伴う災害の増加 | | | | | | | | | | |
| ア 土砂災害防止対策等の推進 | 40 | ◎富山県、氷見市、地域住民 | | | | | | → 土砂災害特別警戒区域に係る各年度の要望に対する対応(事業着手)率(年間) | 100.0% | 100.0%を維持 |
| イ ため池の防災対策の推進 | 41 | ◎富山県、氷見市、氷見市土地改良区、地域住民 | | | | | | → 防災重点農業用ため池の改修完了箇所数(累計) | 9箇所/180箇所 | 18箇所/180箇所 |
| ウ 地域防災力の強化 | 42 | ◎自主防災会、自治会、地域住民、氷見市、富山県 | | | | | | → 氷見市防災ネットワーク加入者数(累計) | 147人 | 297人 |

世界農業遺産・日本農業遺産保全計画
取組一覧

| 取組 | ページ | 実施者 | 実施時期 | | | | | 指標 | | |
|---------------------------|-----|---|------|----|-----|-----|-----|--------------------------------|---------|------------|
| | | | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | 目標指標 | 現状値 | 目標値 |
| 7 多様な主体の参画 | | | | | | | | | | |
| (1) 農林水産業の担い手不足 | | | | | | | | | | |
| ア 休耕田を有効活用した農業体験の推進【再掲】 | 43 | ◎氷見市農業協同組合、地域住民、保育園、小学校、義務教育学校(前期課程)、富山県、氷見市 | | | | | | 市内の保育園、小学校での特産品農業体験取組園(校)数(年間) | 19園(校) | 19園(校)(毎年) |
| イ 長坂集落の棚田保全・活用【再掲】 | 44 | ◎椿衆、ひめ椿衆(地域住民)、氷見市農業協同組合、氷見市、富山県 | | | | | | 棚田オーナー数(年間) | 43オーナー | 40オーナー以上 |
| ウ 氷見産材を活用した木育の推進 | 45 | ◎木育推進組織、地域住民、氷見市、富山県 | | | | | | 氷見市海浜植物園入園者数(年間) | 90,246人 | 100,000人 |
| エ 水産資源の保全活動【再掲】 | 45 | ◎氷見市水産多面的機能発揮対策協議会、氷見漁業協同組合、富山県西部森林組合、漁業経営体、富山県、氷見市 | | | | | | 水産多面的機能発揮対策事業に参加した人数(年間) | 224人 | 200人以上 |
| オ 環境にやさしい農業の推進 | 46 | ◎富山県、氷見市農業協同組合、農業経営体、氷見市 | | | | | | みどり認定農業経営体数 | 17経営体 | 17経営体 |
| 8 6次産業化の推進 | | | | | | | | | | |
| (1) 農業水産業の衰退と所得の減少 | | | | | | | | | | |
| ア 特色ある農産物の6次産業化の推進 | 48 | ◎農業経営体、製造業者、小売業、高等教育機関、氷見市農業協同組合、氷見市、富山県 | | | | | | 6次産業化の取組による新商品開発数(累計) | 0件 | 5件 |
| イ 水産資源を活用した6次産業化の推進 | 49 | ◎水産関係者、氷見商工会議所、小売業者、氷見市、富山県 | | | | | | 未利用・低利用魚活用店舗数(年間) | 2件 | 2件以上(毎年) |